

「防災教育を通して地域の子どもの育む中で、

小中の連携を図る」

I 主題設定の理由

大和地区は、「急傾斜地特別警戒地域」と「土砂災害特別警戒地域」が大きく含まれている。また、非常に交通量の多い国道20号線が通っている。その中で、安全に通学し安心して学習して九ために、防災の意識を向上させていくことが急務であると考えた。小学生は自分自身の、中学生は自分自身に加えて小学生や地域の方の命を守っていく、「自助・共助」の考え方の元、避難しなくてはならない。そのため、地域の危険な場所の把握や、緊急地震速報のアラームに無条件で反射できるよう取り組む必要がある。そうした活動を、小中学生と一緒に活動をすることで、これまで以上の連携が可能になると考えたため設定した。

II 研究の内容

1 第1回ブロック研究交流会 「心肺蘇生法講習会」

(1) 日時 平成29年 5月 26日(金) 午後3時30分から

(2) 会場 大和小学校

(3) 内容

- ① 小中合同心肺蘇生法体験
 - ・生徒の心肺蘇生法の体験
- ② 教職員の心肺蘇生法講習会
 - ・心肺蘇生が必要な場合の対応講習
 - ・心肺蘇生法の体験

2 第2回ブロック交流研究会 「災害対策の講習会 DIG作成法の講習会」

(1) 日時 平成29年 8月18日(金) 午後1時30分から

(2) 会場 甲州市大和支所 ふるさと会館

(3) 内容

- ① 小中教員DIG作成法講習会
 - ・DIG作成法の講習
 - ・DIGの作成体験と発表
- ② 秦康範先生による災害講演会
 - ・地震の被害、自助共助の有効性

3 第3回ブロック交流研究会 「小中合同DIG作成」

(1) 日時 平成29年 10月31日(火) 11月 7日(火) 午後1時30分から

(2) 会場 大和小学校

(3) 内容

① DIGの作成

- ・9グループに分け、DIGマップの作成

② DIGの発表練習

- ・DIG発表会の役割分担と発表原稿作成

4 第4回ブロック交流研究会 「小中合同DIG成果発表会」

(1) 日時 平成29年 11月19日(日) 午後1時30分から

(2) 会場 甲州市大和支所 ふるさと会館

(3) 内容

① DIGの発表会

- ・9グループによるDIGの成果発表

② 秦康範先生による災害講演会

- ・家具の固定をはじめとする自助、近所の方と連携する共助について

5 第5回ブロック交流研究大会 「ブロック交流研究のまとめ」

(1) 日時 平成30年 1月17日(水) 午後3時30分から

(2) 会場 大和中学校

(3) 内容

① 今年度の活動のまとめ

- ・小中それぞれで成果と課題を出し、全体で共有

III 成果と課題

1 成果

- ・これまでの交流会とは異なり、児童・生徒同士がともに作業することで交流することができ、中学生の成長の様子がよく分かった。教師間だけの情報交換や交流ではなく、子どもの交流活動の成果が大きく、継続して仕組んでいきたいと感じた。
- ・小中合同で防災に取り組んだことにより、知っているだけの知識を活用していく難しさを感じた。しかし、多くの立場の人が関わり実践していくことで、防災の意識が高まり、行動に移せるようになった。
- ・小中で同じテーマに取り組んだことにより、互いに意識した活動ができた。同じ方向性で取り組むことで、これまでよりもより深い交流活動ができたと感じられる。

2 課題

- ・交流活動で得た知識や経験を、小中で共有することができたが、家庭や地域の人たちと共有していく場を設定していきたい。
- ・ブロック交流活動で取り組んできたが、小中合同で活動していくためのカリキュラムづくりに課題がある。
- ・本年度に取り組んだ活動は大きな成果を上げたと感じるが、次年度以降にどう継続していくか、どのように活動を仕組んでいくかを検討していく必要がある。
- ・活動してきた内容を、各校で活用していくことは可能だが、小中合同で取り組んで行くにはまだ調整が難しい。各校のカリキュラムや年間行事計画等の調整が非常に難しい。

(ブロック長 駒井隆浩)